

## 平成28年度第2回南丹市社会教育委員会議 会議録

日時 平成28年6月27日（月）午後1時30分～午後3時30分

場所 南丹市園部公民館 3階 大研修室

会議出席者（順不動、敬称略）

社会教育委員 小南仁、三觜宏孝、中野愛子、岡島賢峰、麻田健治、宇野齊、  
大嶋久美子、北村友子、富田陽子

市教育委員会 岸本教育次長、浅田課長補佐、大塚係長、奈木野主事、森社会教育主事

傍聴人数 4名

### 1. 開会

### 2. あいさつ 中野代表

あいさつのあと、中野代表の進行により協議が進められた。

### 3. 協議事項 園部公民館・八木公民館の今後のあり方について

協議に先立ち、平成25年度答申提出時以降に就任された委員がほとんどのため、諮問を受けて答申を行い、その後協議してきた経過を事務局から説明した。

主な質疑・意見等

○住民アンケートは実施していないのか。

→27年度末に園部・八木公民館利用者を対象に実施した。その結果は過去の委員会でお示ししているし、いつでも提示できる。

○昨年度園部公民館の大ホールを利用していた団体のほとんどが国際交流会館を使用しているのか。

→そこまでは判らない。他施設を使用している可能性もある。

○口丹地域に大きなホールを設置してほしいのが本音だが、各町に日吉町生涯学習センターのような施設があるのが望ましい。

○亀岡会館が閉館となったのち、ガレリアの利用料金表が改定されて2種類できたようだ。南丹市も同じように何か手が打てないものか。

○小学校跡地を活用できるようになれば、文化活動の幅も広がるのではないか。

→現在、学校施設ではなくなったため、利用の目的が決まるまでは市の暫定施設として地元で利活用方法について検討いただいている。地元が考えられる用途として文化活

動としての利用が含まれる場合は、その利用も考えられる。

- 研修棟の機能集約はできると考えるが、ホールはやはり文化発展のためには必要だと考える。
- みんなが利用しやすく、安心安全で文化的な拠点はどうあるべきかを考えていくことが大切。
- 受益者も「減免・免除」ばかりでなく、応分の負担も必要と感じる。そのためには理解を得る必要がある。
- 住民の皆さんが活動しやすいかどうか 중요하다。
- 国際交流会館であった尾上松也公演や日吉町学習センターの三山ひろしコンサートなどイベントをきっかけにホールに足を向ける人が増えている。
- 以前、京都府外で開催されたコンサートに行ったが、田んぼの真ん中にホールがあった。そのような場所でも人が集まっていたことから、人を集めるための企画が必要。
- ソフト面としては、来年度園部・八木公民館両館とも休館するので、違う施設を利用される際にどう支援するのかの検討をする必要がある。

## 8. その他 (事務局)

近畿地区社会教育大会への参加有無の確認

## 9. 閉会あいさつ 清水副代表

次回 第3回社会教育委員会日程 7月12日(火)午後2時30分から